

# 平成9年度 和歌山県文化奨励賞

なか ひがし よし ゆき  
中 東 佳 之 (芸名 上村吉弥)

住 所：東京都江東区

出 身 地：和歌山県伊都郡高野口町

生 年：昭和30年

## ◎業績及び経歴

氏は、幼少の頃より歌舞伎の世界に興味をもち、その成り立ちや背景について造詣を深める。

その後、観劇を重ねるうちに、華やかな舞台の魅力に惹かれ、上方歌舞伎の大家である片岡我當に入門し、歌舞伎俳優を目指し精進を重ね、昭和48年には大阪新歌舞伎座で初舞台を踏む。

その後も、関西若手歌舞伎俳優の集まりである「若鮎の会(現 上方歌舞伎会)」の設立に尽力し、第1回からのメンバーとして、演技等の研究を重ねるとともに、その技を切磋琢磨している。

氏のこうした努力により、昭和61年には、国立文楽劇場「夏祭浪花鑑」磯之丞役で十三夜会奨励賞、咲くやこの花賞を受賞したのを始め、若鮎の会「合邦」玉手御前役で大阪府民劇場奨励賞を受賞するなどその溢れる才能を開花させた。

昭和62年には、東京歌舞伎座で名題披露をし、平成5年には、女形の名門である上村吉弥の名跡を六代目として襲名する。

世襲制や門閥等を重んじる歌舞伎界において、これらを持ち合わせていない者が、実力のみで名跡を継ぐことは非常に希有であり、後進の若手俳優や歌舞伎界を目指す者に大きな希望をあたえた。

また、本県でも開催された、文化庁主催の歌舞伎鑑賞教室などにも積極的に参加し、多くの人々に歌舞伎の華麗さやその魅力を伝えた。

氏は、上方歌舞伎を代表する若手俳優として、優れた文化の創造と普及活動を続け、本県文化振興に対する功績は多大である。

## ■主な表彰歴等

昭和61年 十三夜会奨励賞

昭和61年 咲くやこの花賞

昭和61年 大阪府民劇場奨励賞

平成5年 十三夜会奨励賞

平成9年 国立劇場奨励賞